

次世代足場

ファステック

仮設工業会足場承認取得 承認 第63号

仮設工業会支保工承認取得 承認 第90号

国土交通省新技術情報システム「NETIS」登録製品
登録番号 KT-130098-VE



JFE 機材フォーミング 株式会社

ファステックは、安全な上に、 施工性と剛性を両立させた足場です。

■ 先行手すり方式
(手すり高さは1m)

■ 布材の堅結を目視で点検可能
▶ 改正安全衛生規則対応機種

安全

■ 53mまで単管補強
なしで組立可能

■ 型枠支保工への転用可能
システム支保工(48.6タイプ)相当

施工性

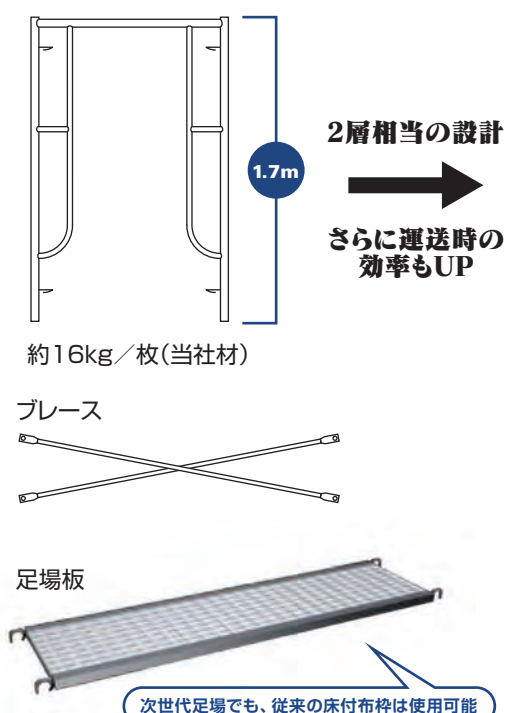
剛性

■ 布材の3ステップ施工

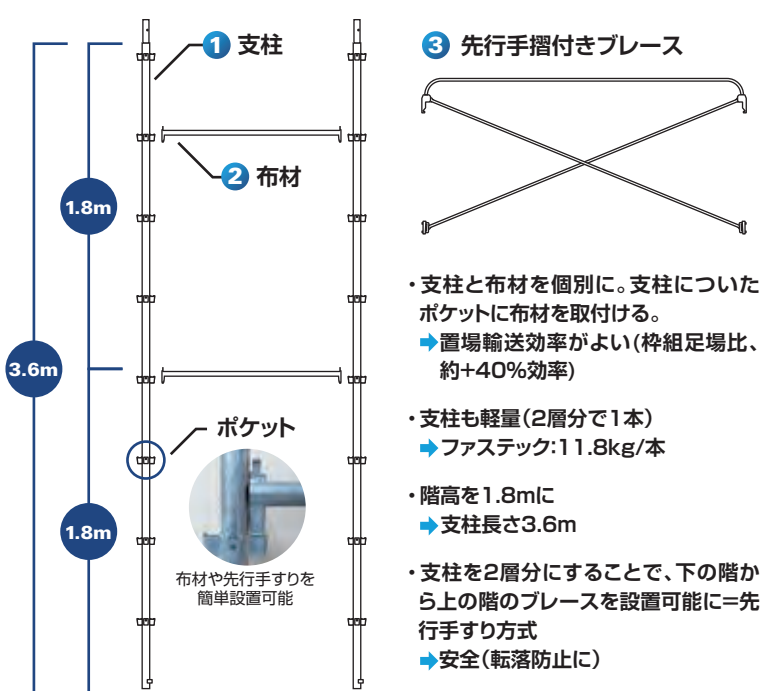
■ 先行手すりの自動セット方式

枠組足場から次世代足場へ

■ 枠組足場



■ 次世代足場(ファステック)



次世代足場でも、従来の床付布枠は使用可能

F 安全

先行手すり方式



手すり高さが長身の方でも安心の1m

布材の緊結を目視で点検可能



改正安全衛生規則(足場の組立後、発注者も点検が必要に)→ファステックは法改正に対応した機種

〈ロック時〉



〈アンロック時〉



- ・クサビを打ち込むことで、抜け止めピンがでる。下からクサビを打つことで抜け止めピンが引っ込む。
- ・バネはステンレス製
- ・クサビは修理も可能

ファステックは、職人さんの安全を守る足場です。

F 剛性

53mまで単管補強なしで組立可能※



53mの施工実績写真

→ 中高層のビルの高さは31mと45mが多い

※施工現場によって補強なしでの高さは異なります

型枠支保工への転用可能



システム支保工(48.6タイプ)相当

→ 保有機材が少なくても済みます

施工性と剛性を両立した秘密は？



- ① ポケット方式
クサビのケースがしっかりとポケットに
- ② クサビの先端が面で支柱に接触&支柱を押す
- ③ 支柱にハイテン700鋼を使用
許容支持力が強く(13.0kN/本)かつ、軽量(11.8kg/本)

ファステックは、施工性と剛性を両立させた足場です。

F 施工性

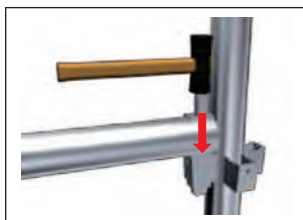
〈布材〉 3ステップ施工

■ 布材の3ステップ施工

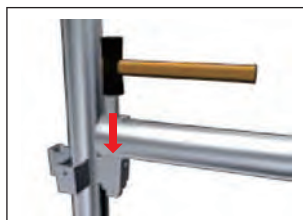
- ① 布材のクサビ部分を支柱ポケットに合わせて置く



- ② 右止め



- ③ 左止め



■ 組立後の一部解体も自由自在



➡ 荷受台設置、歩行用などに

ファステックは
組立時：上→下、解体時：下→上

- ➡ 前後への体重移動なし
- ➡ 高所での安心感が
違くと職人さんに好評

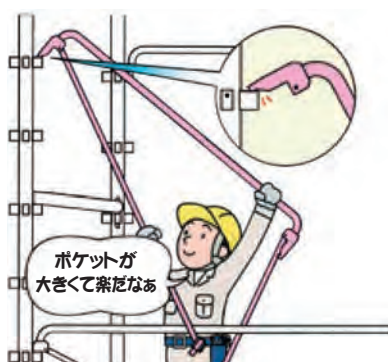
一番多い1829mmの布材でも3ステップ施工

〈先行手すり〉 自動セット方式

■ 上部金具がストレートで長い



■ 先行手すりの自動セット方式



- ① ブレースと手すりを持ち上げて、上部を支柱ポケットに引っ掛けます。



- ② もう一方の金具を支柱ポケットに取り付けます。

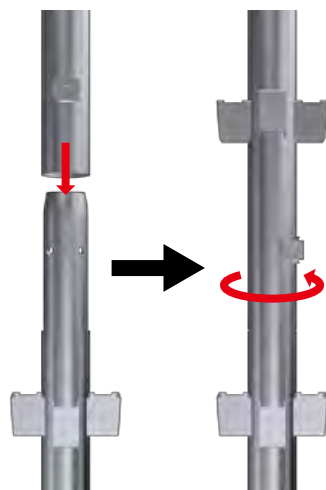
先行手すり方式で職人さんがお困りの点

- ① 高い所にある穴にセットしにくい
- ② 左をセットし、右をセットしようとしたら、左が外れることがある

➡ ファステックなら、先行手すりの自動セット方式

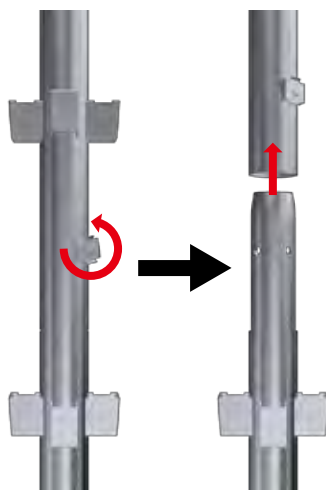
〈支柱〉 自動ロック方式

支柱の組立



挿入 → 回転で自動ロック

支柱の解体



金具をヒネる → 引き抜く

- ・支柱は、差し込んで、回転させるだけ（自動ロック方式）
- ・ロック金具をひねれば、ロック解除。上に引けば、抜けます
- ・円形ホゾに4つの穴
 - 支柱の向きを気にせず組立可能
 - 大組でのやり直し撲滅
- ・支柱にハイテン700鋼を使用
 - 許容支持力が高く（13.0kN/本）、軽量（11.8kg/本）

ファステックは、施工性抜群の足場です。

F ファステックの特長

足場は、高所で膨大な作業が必要

〈3,000㎡の物件の場合〉

部 材	布 材	先行手すり	支 柱
施工に必要な部材数	約3,000本	約1,050本	約900本

ファステックなら

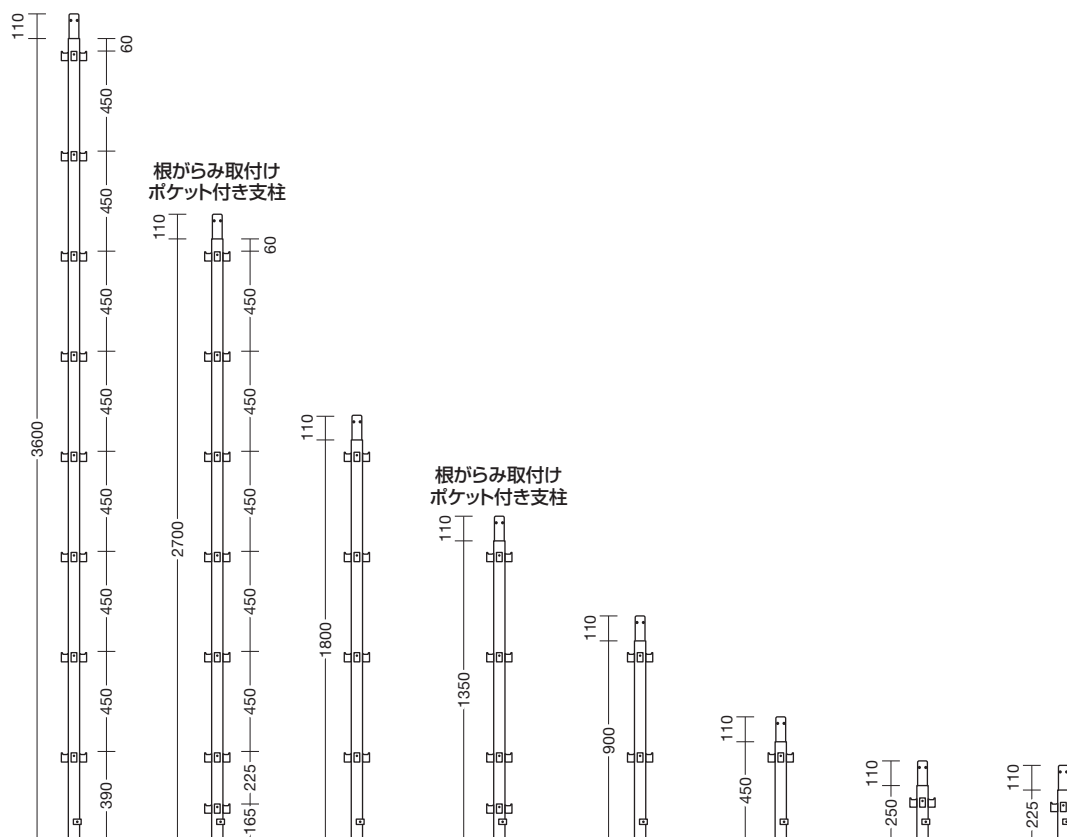
- | | |
|-----------------------|----------|
| ① 布材の3ステップ施工 | ④ 支柱も軽量 |
| ② 機材の左右/前後/向きのチェックも不要 | ⑤ ユレも少ない |
| ③ 余分な単管補強/強化方づえも不要 | |

高所で作業する職人さんのストレスが少ない足場です。

F ファステックの部材

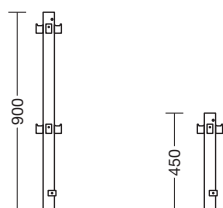
布板等は従来品が使用可能です。

I 支柱



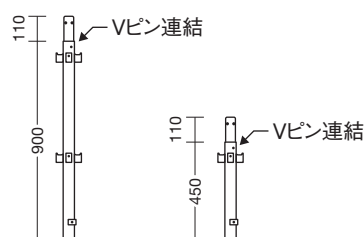
品 番	JFT-36	JFT-27	JFT-18	JFT-13.5	JFT-09	JFT-4.5	JFT-2.5	JFT-2.25
重量 (kg)	11.8	9.3	6.1	5.0	3.3	1.9	1.4	1.3
L: 長さ (mm)	3600	2700	1800	1350	900	450	250	225
パイプ外径 (mm)	φ48.6							

I ほぞ無しタイプ (ほぞ別販売できます)



品 番	JFT-09HN	JFT-4.5HN
重量 (kg)	2.8	1.4
L: 長さ (mm)	900	450
パイプ外径 (mm)	φ48.6	

I ほぞ脱着式タイプ

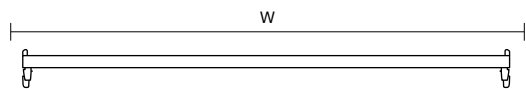


品 番	JFT-09HV	JFT-4.5HV
重量 (kg)	3.3	1.9
L: 長さ (mm)	900	450
パイプ外径 (mm)	φ48.6	

I Vピン

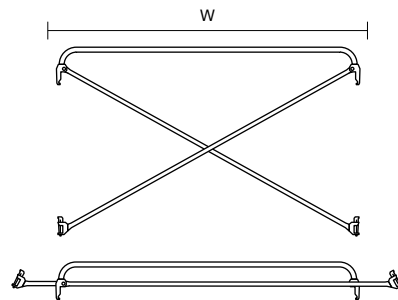


■ 布材



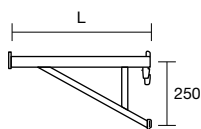
品 番	JFN-183	JFN-153	JFN-123	JFN-093	JFN-063	JFN-043	JFN-03	JFN-02	JFN-015
重量 (kg)	5.0	4.3	3.5	2.7	2.0	1.4	1.2	1.0	0.9
W: 使用長 (mm)	1829	1524	1219	914	610	410	305	200	152
パイプ外径 (mm)	φ42.7								

■ 先行手摺付きブレース



品 番	JFX-183N	JFX-153N	JFX-123N	JFX-093N	JFX-063N
重量 (kg)	6.8	5.9	5.1	4.3	3.6
W: 使用長 (mm)	1829	1524	1219	914	610
パイプ外径 (mm)	手摺パイプφ27.2 ブレースφ21.7				

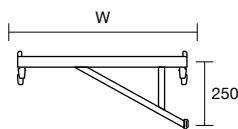
■ ブラケット (片持ちタイプ)



品 番	JBK-75	JBK-50	JBK-35
重量 (kg)	3.4	2.5	1.9
L: 長さ (mm)	838	538	324
パイプ外径 (mm)	φ42.7		

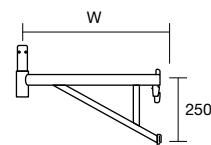
品 番	JBK-15
重量 (kg)	0.7
パイプ外径 (mm)	φ42.7

■ 両端くさび付ブラケット



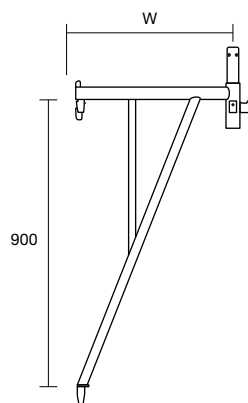
品 番	JBKN-063	JBKN-04
重量 (kg)	2.8	2.1
W: 使用長 (mm)	610	400
パイプ外径 (mm)	φ42.7	

■ ピンブラケット



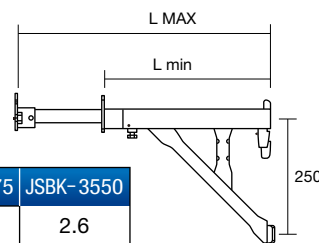
品 番	JBKP-063	JBKP-04
重量 (kg)	3.3	2.6
W: 使用長 (mm)	610	400
パイプ外径 (mm)	φ42.7	

■ 張出ブラケット (拡幅用)



品 番	JHBK-6	JHBK-3
重量 (kg)	5.2	4.4
W: 使用長 (mm)	610	305
パイプ外径 (mm)	φ42.7	

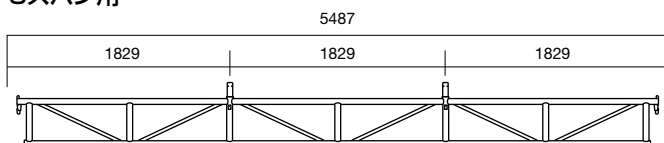
■ 伸縮ブラケット



品 番	JSBK-7510	JSBK-5075	JSBK-3550
重量 (kg)	5.1	3.7	2.6
L: 長さ (mm) 最大	1070	804	544
L: 長さ (mm) 最小	838	538	354
パイプ外径 (mm)	φ42.7		
パイプ内管外径 (mm)	φ36.4		

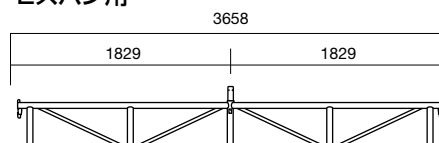
■ 梁 枠

3スパン用

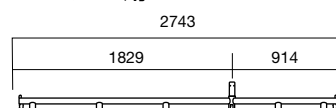


品 番	JHL-3	JHL-2	JHL-1.5
重量 (kg)	35.5	23.9	15.0
パイプ外径 (mm)	上弦材、下弦材共φ42.7		

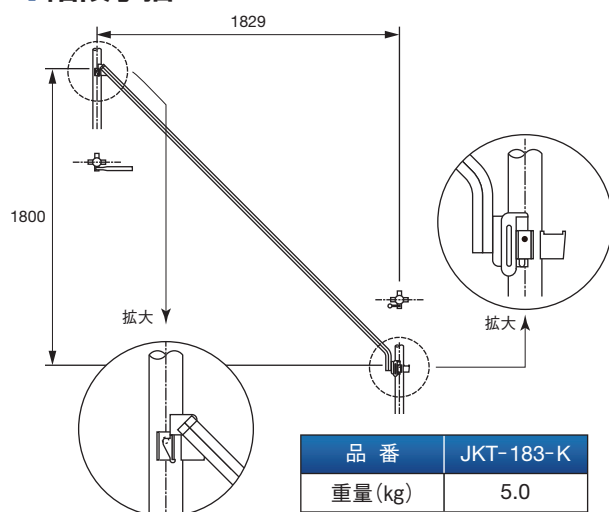
2スパン用



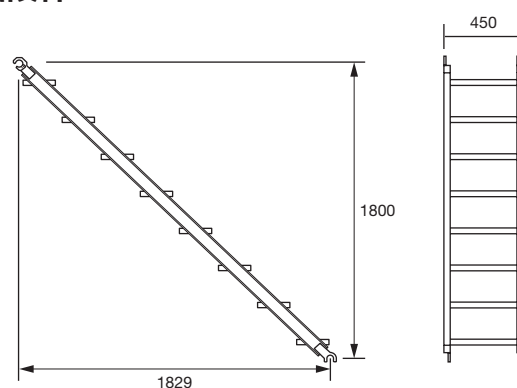
1.5スパン用



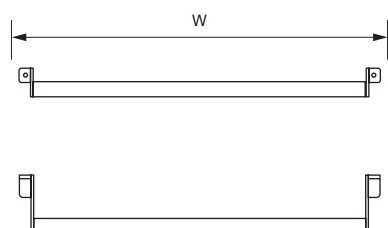
階段手摺



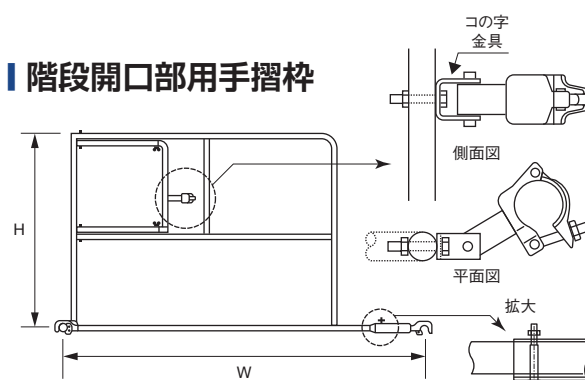
階段枠



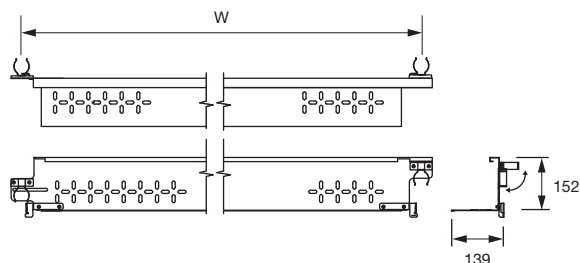
階段受け



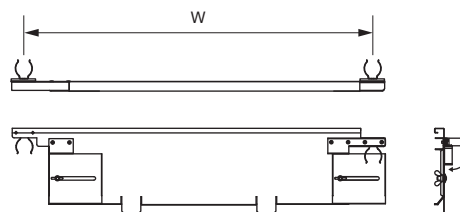
階段開口部用手摺枠



桁側幅木



妻側幅木



〔注〕「ファステック円形先行手摺付きブレース、伸縮手摺」につきましては、受注生産品となっております。
納期を含めた詳細につきましては、お問合せください。

F ファステックの使用基準

許容支持力等

【1】下記の許容支持力以下の範囲で使用する。

使用形状	許容支持力
	〈片側先行手摺付き〉 ブレース片側布材 支柱1本当たり $P=13.0(\text{kN})$以下 1.33(t) 〈両面先行手摺付き〉 ブレース $P=12.0(\text{kN})$以下 1.22(t)
	〈梁上支柱1本当たり〉 $P=12.0(\text{kN})$以下 1.22(t) 梁端1スパン及び上方3層は、両面先行手摺付きブレースでの設置とする。
	〈梁上支柱1本当たり〉 $P=12.0(\text{kN})$以下 1.22(t) 梁端1スパン及び上方3層は、両面先行手摺付きブレースでの設置とする。
	〈支柱1本当たり〉 $P=10.0(\text{kN})$以下 1.02(t)
両端くさび付ブラケット ピンブラケット	ブラケット1枚当たり $P=2.45(\text{kN})$以下 0.25(t)
先行手摺付きブレースの許容水平抵抗力	3.00(kN)以下 0.03(t)

【2】積載荷重

①足場の最大積載荷重は、次表に示された値以下、かつ、同時積載は2層までとすること。

1層1スパンあたり	
同一層連続スパン载荷	250kg
同一層連続スパン以外の载荷	400kg

②作業床には上表の値にかかわらず、床付き布わくの許容積載荷重を超えて積載しない。

③梁枠で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は800kg以下とすること。

【3】使用基準

1) 部材の一時的取り外し

作業のためやむを得ず一部の部材を一時的に取り外すときは、取外した状態における足場の強度が著しく低下しないことを事前に確認するとともに、当該作業が終了した後は、直ちに原状に復すること。

2) 先行手摺付きブレース

先行手摺付きブレースの使用は次によること。

- ①足場の組立て及び解体時において、最上段に設置された先行手摺付きブレースは、荷取り作業等においても取り外さない。
- ②足場の組立て又は解体作業が行われている足場最上層に置いては、先行手摺付きブレースに安全帯を取付けて作業する。
- ③安全帯取付け設備として使用する場合は以下による。
 - 〈1〉安全帯のフックは、先行手摺付きブレースの手すりに掛け、1枠に1人の使用とする。
 - 〈2〉作業床から地面又は衝突のおそれのある機械設備等までの垂直距離が2層以上で使用する。

3) 表示

足場には、見やすいところに最大積載荷重を表示すること。

4) 点検

足場は、労働安全衛生規則第567条及び655条に従って、各々の立場で適正な時期・内容で点検を行うこと。

F 組立手順

1) 足場の脚部

設計計画図に基づき、敷板の上にジャッキベースを所定の位置に設置し釘等で固定します。

注1) 基礎の支持力が十分であることを確認します。

2) 支柱根がらみの取付

①最下層の支柱、根がらみ用ソケットのあるJFT-27、JFT-13.5を使用します。

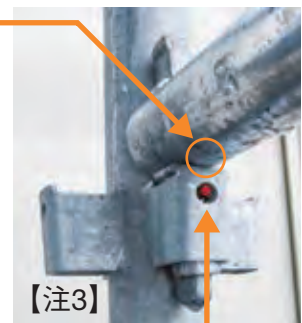
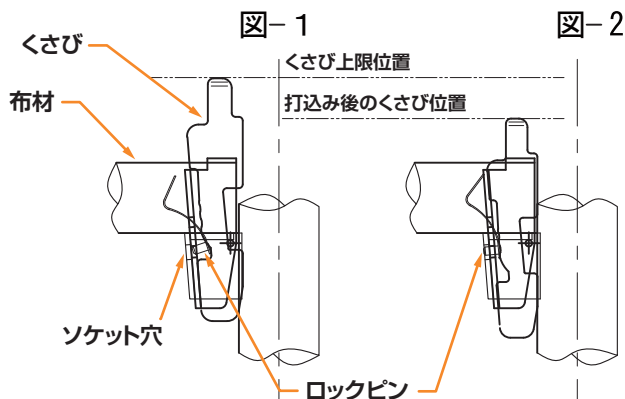
設置場所に傾斜がある場合はJFT-2.5、JFT-4.5等の支柱で高さ調節する。(支柱が倒れないように注意)

②最下段のソケットに根がらみ(布材)をセットします。

注2) 布材をセットするときには、図-1の通りくさびが上限にあり、ロックピンが引っ込んでいることを確認して下さい。ロックピンが突き出していると布材が浮き、その状態でくさびを打ち込むとロックピンが損傷する恐れがあります。

注3) 布材のパイプが支柱のソケット部に接触している事を確認してください。

注4) 図-2の通り、くさびを打ち込むと、ロックピンが突き出しソケットの穴にロックピンが貫通します。ソケットの穴よりロックピンが貫通するまで打ち込んでください。

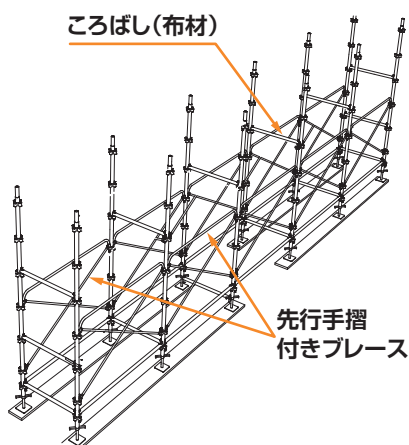


ロックピンがソケット穴から貫通していることを確認してください。
➡貫通しないと抜け止め機能が働かない。

3) ころばし(布材)の取付

床用に足場の幅方向に、ころばし(布材)を支柱の5段目のソケットに取付けます。

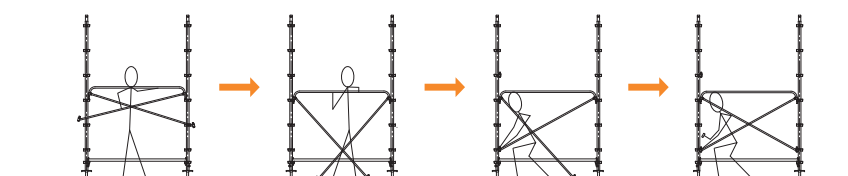
4) 1層目先行手摺付きブレースの取付け



①先行手摺付きブレースを折り畳んだ状態で持ち上げ、4段目のソケット両側に上部差込金具を装入する。

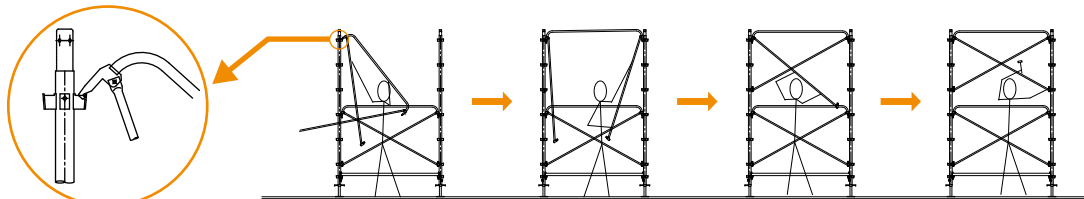
②2段下がったソケットに下部取付金具を横方向より装入し、くさびをハンマーにて緊結する。(この時、くさびはソケットに干渉しないように持ち上げながら装入する。)

③足場の前踏み/後踏み側の両面に設置する。



5) 2層目先行手すり付きブレースの取付

- ①左図のとおり支柱の最上段のソケットに先行手摺の上部差込金具のフックを掛ける。
- ②反対側のソケットに先行手摺付きブレースの上部差込金具を差し込むと自動的に①側の差込金具はソケットの奥に差し込まれます。



6) 床付き布わくの取付け

二層目に床付き布わくを設置する。

7) ①階段受け、②階段枠、③階段手すりの設置

- ①最下段のソケットに階段受けを取り付ける。②階段枠を階段受けに掛け設置する。③階段手すりを取り付ける。

注5) 階段枠は最初に下部つかみ金具をセットしてから上部つかみ金具をセットする。

8) 手すり(布材)の取付け

前踏み側と妻側に手すり(布材)を取り付ける。

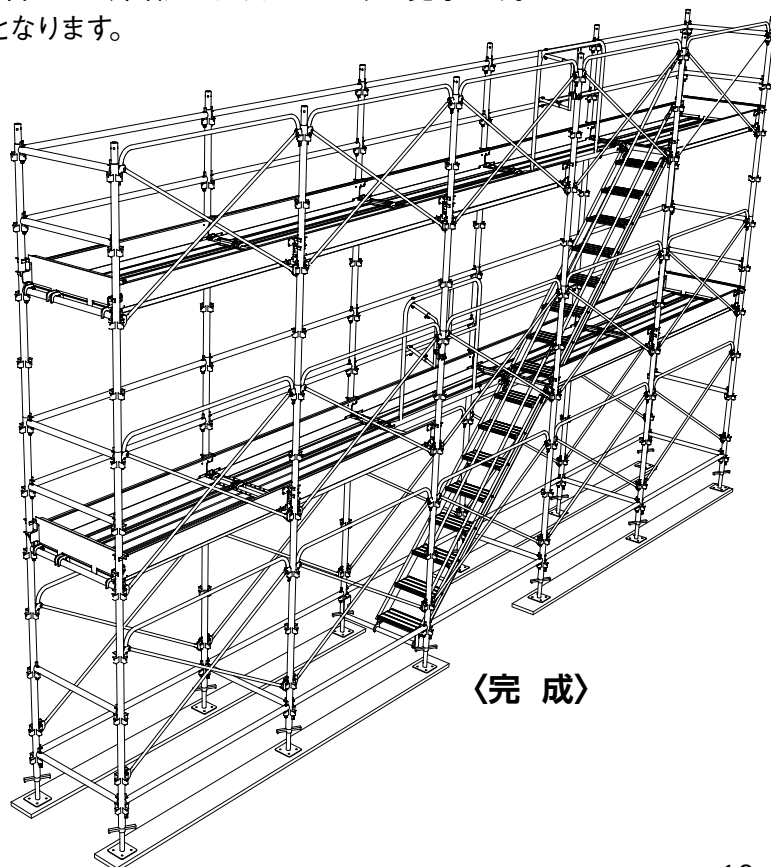
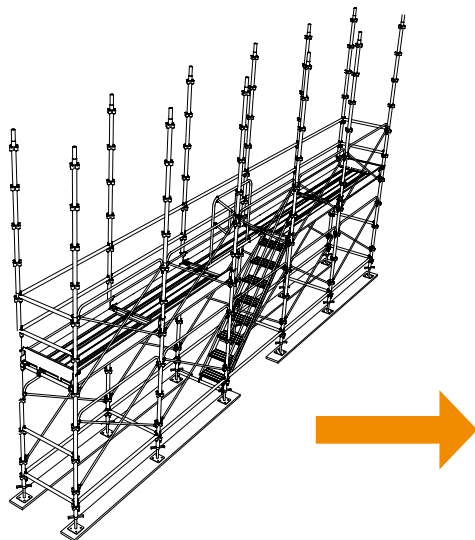
注6) 手すり設置時には、墜落制止用器具を先行手摺の手摺材に取付けること。

9) 階段開口部用手摺枠の設置

階段開口手摺枠を設置する。

10) 3層目以降の組立

- ①下段支柱(JFT-27)のホゾ部に上段支柱(JFT-36又はJFT-18)を差込みます。
- ②支柱を回転させ、ロック金具より「カチッ」と音がして、回転しなければロック完了です。
- ③3層目以降の組立は「3)⇒9)」の繰り返しとなります。



11) その他

壁つなぎの取付

注) 垂直方向5.0m以下、
水平方向5.5m以下の事

■ 施工例



JFE 機材フォーミング 株式会社

<http://www.jfe-kizai.co.jp/>

■ 本社営業部	〒270-2214	千葉県松戸市松飛台478-2	TEL.047-387-0158	FAX.047-387-0159
■ 名古屋営業所	〒450-6427	名古屋市中村区名駅3-28-12（大名古屋ビルヂング）	TEL.052-533-2481	FAX.052-533-2482
■ 大阪営業所	〒530-0003	大阪市北区堂島1-6-20（堂島アバンザ）	TEL.06-6342-0615	FAX.06-6342-0616
■ 中国販売	〒731-0221	広島市安佐北区可部4-6-5（部谷ビル201）	TEL.082-819-0100	FAX.082-819-0102
■ 九州営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町1-35（博多三井ビルディング2号館）	TEL.092-263-6778	FAX.092-263-6738

代理店